

# あかやま

高 第299号  
[学校だより360号]

平成30年12月21日 島根県立松江北高等学校

7月～12月までに、本校ホームページにアップした記事を掲載します。

## 芸術鑑賞を開催しました。

平成30年7月12日(木)に芸術鑑賞を島根県民会館で実施しました。演目は『ゴスペル&津軽三味線』でした。ゴスペルと津軽三味線のコラボもあり、また、生徒の体験コーナーなどもあり、普段感じることがない刺激をもらった芸術鑑賞となりました。

平日のお出かけにくい日程にもかかわらず、たくさんの保護者のみなさまにも観覧していただきました。猛暑の中、本当にありがとうございました。



ゴスペル



津軽三味線の体験コーナー

## 1年生理数科 校外学習

下記のとおり益田さいえんすたうん2018に参加しました。午後の科学チャレンジでは、事前に与えられた課題に基づいて作成した作品を持ち寄り、県内の高校で競い合いました。

- 1)日 時 7月14日(土)
  - 2)会 場 島根県芸術文化センター(グラントウ)
  - 3)参加者 1年生理数科39名
  - 4)内 容 午前 各企業や大学、益田高校の生徒によるポスター発表の見学  
午後 科学チャレンジ、講演会参加
- 講師 国立天文台 水沢VLBI観測所 助教 秦 和弘 氏



科学チャレンジの様子

## オープンスクールを開催しました。

平成30年7月28日(土)に松江北高オープンスクールを開催しました。蒸し暑い天候の中、約400名の中学生と約100名の保護者・中学校の先生にご参加いただきました。

歓迎の気持ちを込めて弦楽部・吹奏楽部・箏曲部による演奏をスタートとして、教頭挨拶、生徒会による学校紹介へと進んでいきました。その後、体験授業や部活動見学、寄宿舎見学などを行いました。来年度、参加されたみなさまと一緒に北高生活を送れる日を楽しみにしております。

たくさんご参加くださりまして、ありがとうございました。



オープニング



教頭挨拶



生徒会による学校紹介

## 前期生徒会「平成30年7月豪雨災害義援金 募金活動」の実施報告 松江北高校生徒会

平成30年7月豪雨災害の甚大さを目の当たりにし、被災された地域の1日も早い復旧支援のために、本校生徒会として義援金を募らせて頂きたいと考えました。7/30、8/8は松江城大手門跡付近にて、8/29、8/30は本校学園祭に併せて、募金活動を行わせて頂きました。熱い中、本校生徒会の呼び掛けに足を止めて頂き、多くの皆様から募金を頂きました。今回の募金総額79,505円は、日本赤十字社・広島県支部、岡山県支部、島根県支部へと三等分して納めさせて頂き、被災地に届けさせて頂きました。ご協力ありがとうございました。



### ○実施報告

- 第1回 ●実施日:H30年7月30日(月) ●場所:松江城大手門跡付近 ●募金額:37,823円  
●納付:日本赤十字社・広島県支部12,608円,岡山県支部12,608円,島根県支部12,607円
- 第2回 ●実施日:H30年8月8日(水) ●場所:松江城大手門跡付近 ●募金額:30,003円  
●納付:日本赤十字社・広島県支部10,001円,岡山県支部10,001円,島根県支部10,001円
- 第3回 ●実施日:H30年8月29日(水)・30日(木) ●場所:松江北高校(紅陵祭) ●募金額:11,679円  
●納付:日本赤十字社・広島県支部3,893円,岡山県支部3,893円,島根県支部3,893円



## 「大学生講話」を実施しました。

8月20日(月)、2年生を対象に「大学生講話」を実施しました。

16人の現役大学生を講師に迎えて、大学生活や勉強、また高校時代にしておけばよかったことなどを聞きました。みんな熱心に聞き入り、たくさん質問をしました。



## 「職業人講話」を実施しました。

9月13日(木)、1年生を対象に「職業人講話」を実施しました。地域の様々な分野でご活躍の職業人27人を講師の先生としてお迎えし、仕事の内容からやりがい、現場での苦労、高校生・大学生の間にやっておいたほうがよいことなどお話しいただきました。

講師の方々の仕事や地域にかける熱い思いに、生徒たちは熱心に聞き入り、多くの質問をしました。

今後の文理選択や地域課題解決型プロジェクト学習などにつながる貴重な時間を過ごすことができました。



## 理数科2年生 関東地区研修旅行を下記の日程で実施しました。

- 10月3日(水) 海洋研究開発機構 横須賀本部
- 10月4日(木) 筑波宇宙センター、物質・材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構、サイバーデザインスタジオ
- 10月5日(金) 東京大学 研究室訪問



見学先ではたくさんの質問がでて、とても充実した研修になりました。また、2日目のつくば市では、3人の島根県出身の研究者の方々に対応していただくなど、うれしい驚きもたくさんありました。

## PTA研修会「みんなで考えよう! これからの北高の進路指導」が開催されました。

平成30年10月14日(日)にPTA研修部による研修会がサンラポーむらぐもで開かれました。第1部はベネッセコーポレーション東京本部から西野貴昭氏に「入試改革の動向と保護者がサポートできること」という題目で講演をいただき、第2部ではパネルディスカッションが行われました。保護者のみなさまからの質問に対して、ベネッセの西野氏、松江北高校の田中教頭・坂上進路指導部長が答える形で実施しました。お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。お世話いただきましたPTA研修部のみなさま大変有意義な会を計画・運営していただきありがとうございました。



研修会の様子



研修部長の開会あいさつ



西野氏による講演



パネルディスカッションの様子

## 理数科数学班の課題研究が、「数学セミナー 日本評論社」に掲載されました。

現3年生理数科の4名が、2年生の時に「課題研究」の時間を使って実施した数学の研究「桂馬飛びを拡張した移動に関する考察」が今年の数学セミナー11月号NOTEのコーナーに取り上げられました。本研究は島根県の理数科代表として、今年8月に佐賀県で開催された中国・四国・九州地区理数科課題研究発表大会(佐賀大会)でも発表しています(発表タイトルは「寺本桂問題」)。

投稿原稿の作成は、今年6月末の締め切りに間に合うように県総体や佐賀大会の準備と平行してすすめてきました。大変でしたが、課題研究で取り組んだことが、実績として残る結果につながったことに大変よろこんでいます。